

茨城高等学校・中学校

校長室だより 2022年12月16日

清々しい朝に

筆者は、朝、始業前に校内を巡回することを日課にしています。リュックを背負って教室に向かう人、廊下で友達とおしゃべりしている人、ロッカーの上に勉強道具を広げて自習している人など、大勢の生徒諸君とあいさつを交わしながら、ああ今日も一日が始まるなあ、と実感するひとときです。

先日、廊下の窓から登校する生徒たちを眺めていたとき、真後ろ推定距離30センチから「先生、スガスガしい朝ですね！」と突然声をかけられました。筆者が『ゴルゴ13』のデューク東郷だったら、振り向きざまに銃を突きつけて「キサマ何者だ？俺の背後に立つな」と詰問するところです。びっくりして振り返ると、筆者よりもこぶしひとつ分くらい背の高い、のっぼの中学生男子でした。

「あ～そうだね、スガスガしい朝だね」と答えましたが、その後の会話が続きません。2～3秒の沈黙の後、そうだ、ちょっと驚かされた仕返しをしてやろう、と思いつきました。のっぼ君に「ところで君さあ、スガスガしいって漢字で書ける？」と質問してみました。こういうところが国語教師のやらしいところだよなあ、と今書いていて自分でも思います。

のっぼ君は一瞬、「？」という表情を浮かべましたが、「あれ、えと、確か、セイセイしい…ですよね？」。のっぼ君、大正解。「さすがだね、その調子で今日一日がんばろう」というと、ニコニコしながら「はい！」と答えてくれました。

のっぼ君のおかげで、清々しい朝を感じることができました。

いつかAIとともに語る日

文章を書くにあたり、筆者はとりあえず最初にタイトルを決定する派です。もちろんその前に大雑把なテーマや展開は考えておきますが、まずタイトルを決めて、そのイメージに沿って書いていくのが書きやすい気がします。

さて、本文「いつかAIとともに語る日」ですが、このタイトルを決めたとき、筆者の中のリトル自分（注1）が、「ねえ、これ大丈夫？文系ど真ん中でしょ？AIとか本当にわかるの？」と心配そうに尋ねてきました。筆者は小さな声で「うん、でも…がんばってみる」とだけ答えたのでした。

そういうわけで今回のテーマは、デジタル革命の最先端“AI（人工知能）”です。「校長室だより」史上、最も困難なチャレンジといっても過言ではありません。もしかしたら間違っていたり、「そんなの、もうとっくに解決済みの問題だよ」という内容が含まれて

べてみてください。ちなみに「夜寒（よさむ）」とは“日中は感じないが、夜になると空気が冷えて感じられる寒さ”という意味で、晩秋の季語です。

- A 白雲の 海を見ている 夜寒かな
- B 少年の 日の終わりたる 夜寒かな
- C 家近く 夜寒の橋を 渡りけり

この中から、一番好きな俳句を選ぶとしたら、君はどの句を選びますか？実は、この三句のうち人間が詠んだ俳句は一句のみで、残りの二句はA Iによって作られたものです。俳句を作ったのは、北海道大学が開発した俳句A I「一茶くん」。7万句の俳句を機械学習した「一茶くん」は、自ら俳句を作る（アウトプットする）ことができます。

A Iが作った俳句と、有名な俳人による俳句ではどちらが評価が高いか、という調査を京都大学の研究グループが行いました。調査は、インターネット上で385人を対象に実施されました。①A Iが人間の介入なく作った俳句20句、②A Iが作り、人間が選ぶなど人が関わった俳句20句、③歳時記（注2）に掲載されている人間（著名な俳人）によって作られた俳句40句について、評価する人にはその分類がわからないようにして、7点満点で評価してもらおう、というものです。

その結果、「②A Iが作り、人間が選ぶなど人が関わった俳句」の平均が4.56点と最も高く、「①A Iが人間の介入なく作った俳句」と「③歳時記に掲載されている人間によって作られた俳句」はそれぞれ4.15点、4.14点とほぼ同じ評価だったとのことでした。

ネットニュースでこの記事を読んだとき、少なからず衝撃を受けました。A Iが文章を作ったり、絵を描いたりするのは、今では珍しい話ではなくなりました。しかし、芸術、特に文学などの言葉による芸術は、人間の奥深い内面、精神性を反映したものであり、心を持たないコンピューターには真似できない領域だ、という思いが筆者のどこかにあったのだと思います。人間の言葉よりも機械が生んだ言葉のほうが人の心を感動させるとしたら、詩や文学とはいったい何なのだろう、と考えさせられました。

ちなみに、上記の三句のうち、Aは「②A Iが作り、人間が選ぶなど人が関わった俳句」、Bは「①A Iが人間の介入なく作った俳句」、Cは③で俳人高浜虚子によって詠まれた俳句でした。君はどの句がよいと思ったのでしょうか？筆者はというと、よいと思った順からB、A、Cの順番でした。高浜虚子先生、申し訳ありません！（汗）

この京都大の調査だけで、A Iの俳句を作る能力が人間のそれを上回った、などと単純に結論づけることができないのはもちろんです。評価をした385人の年齢層や男女比はどうか（インターネットでの調査ということで高齢者の割合は少なかったのかもしれない）、歳時記から選んだ人間の俳句が作られた時期はいつなのか（制作年代の古い俳句だと、生活習慣や文化が現代と異なっており、共感が得られにくいことも考えられます）、など見えない要素が評価を左右している可能性もあります。しかし、それにしても、人間作の俳句よりもA I作の俳句のほうが高い評価を得たという現実には、やはり何かモヤモ

やさせられずにはられません。

『ヒトの言葉 機械の言葉』の中に、上島竜兵さんの「押すなよ、ぜったい押すなよ」に触れたくだりがあります。知らない人のために説明すると、上島竜兵さんは三人組のお笑いグループ「ダチョウ倶楽部」のいじられ担当で、体を張ったリアクション芸が有名でした。今年の5月、突然の訃報に多くの人がその早すぎる死を悲しみました。

上島さんの持ちネタに「熱湯風呂」がありました。1983年から99年にかけて放送されていたバラエティ番組「スーパージョッキー」の名物コーナー「熱湯コマーシャル」では、ゲストのタレントが水着などになり、熱湯の入った風呂に入って何秒耐えられるかを競います。そして我慢できた長さと同じ時間だけ、自分の新曲や出演するドラマの紹介をできるという、令和のコンプラ基準からは想像できない企画でした。

熱湯風呂には毎回、上島さんが登場します。上島さんは、風呂の湯船のへりにブリーフ一枚で四つん這いになり、「押すなよ、絶対押すなよ！」と繰り返します。上島さんの「押すなよ」は、実は「押せよ」の意味です。最後には他の出演者が上島さんを後ろから押して熱湯の中に落とし、上島さんがオーバーリアクションで笑いをとる、というのがオチでした。

『ヒトの言葉 機械の言葉』で川添氏は、上島さんの「絶対押すなよ」を“意味と意図の違い”という点から説明しています。コミュニケーションにおいて、私たちが他人とやりとりするものは「自分が相手に伝えたい内容」＝「意図」です。そしてこの「意図」は、「単語や文そのものが表す内容」＝「意味」とは必ずしも一致するとは限りません。

小説やドラマの中でも、「あなたなんか大嫌い」というセリフが、実は「あなたのことが大好き」という思いを表現しているケースは多々見られます。しかしそのことは、「あなたなんか大嫌い」というセリフだけを穴の空くように見つめていても理解できません。

「あなたなんか大嫌い」という発言にいたるまでの経緯、二人のやりとり、発言した人の表情やしぐさなど、さまざまな要素を組み合わせなくてはじめて分かることです。

上島さんの「絶対押すなよ」も、誰に言われるでもなく自らパンイチになって湯船のへりに四つん這いになる行為、「押すなよ、押すなよ」という声の調子や言い方、いかにも押してもらいたそうな上島さんの表情などから、他の出演者が「ああ、上島さんは押してほしいんだな」という意図を汲み取って、熱湯風呂の中に落とすのです。（まあ、番組の中では、上島さんが「押すなよ」と言ったら押すのが“お約束”になっていましたが・・・）

果たしてAIが「意味」と食い違う「意図」を読み取ることができるようになるのか、川添氏は明確な答えは示していません。「押すなよ」から「押せ」という意図を汲み取るためには、相当に高度な観察力や分析力が求められます。筆者が想像するに、さすがのAIでも無理なのではないか、と思います。それとも、「熱湯風呂」のような場面を徹底的に深層学習させることで、「押すなよ」から「押せ」を読み取ることのできる、お笑いのわかるAIの誕生はありうるのでしょうか？考えてみればみるほどわかりません。

でも、お笑いを猛勉強したAIに「アレクサ、電気を点けて」と頼んだら、天井からタライが落ちてきて頭を直撃したらイヤだなあ、とくだらないことを考えました。

現在、人とA Iは会話に似たやりとりを行うことはできます。「Hey、Siri（注3）、明日の天気は？」とスマホに質問すると、「明日は雨が降りそうですよ。日中の最高気温は18度で、あまり変わらないでしょう」などと答えが返ってきます。しかし、それはスマホに備わっているA Iが、人間の言葉を数の並びとして入力し、計算して出力した数の並びを言葉に変換して音声として発したにすぎません。

SF映画やアニメのように、機械が自在に人間と語り合い、意志疎通をするためには、機械が「自我」を持つことが前提です。果たして、機械が自我を持つことは可能なのでしょうか？『ヒトの言葉 機械の言葉』の中で川添氏は、「すくなくともこれからまだしばらくは、機械が人間と同じように言葉を理解できるようになるのは難しい」と述べています。それは、機械と人間が「内部で言葉をどう理解しているか」が根本的に異なっているからです。しかし、近い将来、A Iの言語認識の分野でブレイクスルーが起こり、人間に近い言語認識能力を持つA Iが誕生したとしたら、本物の自我は無理としても、自我に限らず近いものを獲得しないとはいえ切れなないかもしれません。

機械が人間に近い自我を持つようになり、人間と同じように機械と会話ができる日が来るとしたら、人はA Iと何を語るのでしょうか。人とA Iのコミュニケーションは、どんな未来を実現するのでしょうか。人と機械の間に友情に似たものは生まれるのでしょうか。想像しただけで心が躍る気がします。

一方で、実際にA Iが自我を手に入れたとしたら、それが大きなリスクとなる可能性もあります。2021年7月に放送された「NHKスペシャル“AI戦争 果てなき恐怖”」は、A Iの軍事利用に警鐘を鳴らすものでした。A Iを搭載し、自動的に相手を攻撃する能力を持つ無人小型機（ドローン）はすでに戦場で使用され、重要な戦力を担っています。人間をはるかにしのぐハッキング能力を持つA Iは、大規模なサイバー攻撃を仕掛け、敵国の国家機能を無力化することが可能です。アメリカは、統合参謀本部など軍中枢の判断にもA Iを利用し、世界に展開するアメリカ軍の膨大なデータをA Iがリアルタイムで処理し、意志決定を行う計画を進行させてとしています。

この番組を観て筆者は、「これはまるで、『ターミネーター』のスカイネットじゃないか?!」と驚きました。映画『ターミネーター』（注3）には、自我に目覚めた軍事用人工知能「スカイネット」が人類滅亡を意図して全世界に核戦争を引き起こし、生き残った人類を人間型の殺人ロボットが抹殺していく近未来社会が描かれています。現在、国連でもA Iの軍事利用を規制する議論が進んでいますが、現実の技術進化のスピードに対応できていないという批判もあります。

考えてみると、この「自我」＝「ワタクシを自ら認知する能力」こそ、人間とA Iを隔てる決定的な違いではないでしょうか。「自我」を持つ私たちは、未知のことがらに好奇心を抱き、W杯のサッカー日本代表の試合に一喜一憂し、近ごろ元気のない友達を心配し、将来こんな自分になりたいという希望を持つことができます。A Iと人間がより高度に共存する社会が、私たちの想像をこえるスピードで、やって来ようとしているのかもしれない。A Iと人間の距離が近づけば近づくほど、「人間」とは何か、「私」は誰か、とい

N君はあきれた顔で言いました。「ばっかだなあ～、キカイダーをよく見てみろよ。耳に穴があいてないだろ？」やっぱ4年生はすげえなあ、と筆者は尊敬のまなざしをN君に注いだのでした。(終)

注1) リトル自分・・・元ネタは、サッカー選手の本田圭佑氏がACミランへの移籍会見で、「移籍を決めた理由は？」という記者の質問に「心の中のリトル・ホンダに聞いて決めた」と回答したこと。「リトル自分」を思いついたとき、自分ではおもしろいパロディーだと思ったのですが、本田氏のACミラン移籍は2013年だったことに気づき、現在の中高生はほとんど知らないのでは？と不安になり、注をつけました。自己満足ですみません。

注2) 歳時記・・・俳句の季語を集め、季節ごとに整理し、解説や例句を加えた本。

注3) Siri (シリ)・・・iPhoneなどApple社のデバイスに搭載されている、AIを利用した音声バーチャルアシスタント。登録された音声で「Hey, Siri」と呼びかけると起動する。

注4) 『ターミネーター』・・・1984年のアメリカのSFアクション映画。ジェームス・キャメロン監督、アーノルド・シュワルツェネッガー主演。

自我を持ったコンピューター「スカイネット」が核戦争を起こし(「審判の日」、人類の大部分が滅んだ未来では、人間型殺人ロボット「ターミネーター」と、ジョン・コナーをリーダーとする生き残った人間との間で激しい戦いが行われている。スカイネットはターミネーター一体を1984年にタイムスリップさせ、将来、ジョン・コナーを出産することになるサラ・コナーの殺害を企てる。スカイネットの作戦を察知したジョンは、ターミネーターからサラを守るため、自分の腹心の部下カイルを同じ時間にタイムスリップさせる。こうして1984年のニューヨークを舞台に、ターミネーターと、サラ、カイルの攻防が繰り広げられることとなるのである。

注5) 『人造人間キカイダー』・・・石ノ森章太郎原作。1972年～73年にテレビ放映された特撮変身ヒーロー作品。

※「校長室だより」は、本校のHPにも掲載しています。バックナンバーを読みたい人は、HPの「学校案内」→「校長室だより」からどうぞ。